

アイテムしごと探検隊

●実施日：2008年8月27日(水)
りそな銀行 大阪本社のお仕事探検！



◆◆◆ **早く、正確に大切なお金を守る使命感**

続いてやってきたのは「回金センター」と呼ばれる、全国の支店から集まるお金を本物と確認し、まとめて送り出す部署だ。仕事の内容を説明してくれたのは瀬崎さん。「お金はとても大切なものです。汚したり、破ったりしないようにしましょう」と話す様子はキビキビとしていて、厳しそうな顔は仕事への姿勢を感じさせる。ここで隊員たちは、見たことがないほど大きな紙幣の束を抱えてみた。10kg以上あるという一億円の束は「重い！」「いや、軽いよ」と隊員の意見が分かっていた。また、本物の紙幣を見分ける方法を教えてもらい、実際の紙幣を使って数え方を練習する。



◆◆◆ **空高くそびえる、巨大金融グループの中核機関**

アイテムからバスで10分ほど。やってきたりそな銀行大阪本社は、今までの「アイテムしごと探検隊」の中でも入るのが難しい場所の一つだ。なぜなら、あらゆる場所ので警備員さんが入館者を監視し、子供はもちろん大人も関係者以外の立ち入りが厳しく禁じられているからだ。大阪市内の中心にそびえる本社ビルは地上24階建て。とても立派で、入口から見上げるとひびくり返りそう。



りそな銀行 大阪本社 <http://www.resona-gr.co.jp>

りそな銀行は、協和銀行と埼玉銀行を母体とするあさひ銀行と大和銀行が合併して誕生した金融グループ。大阪本社にはりそなホールディングスの中核機関が集まっている。新しい時代の金融市場の動きに対応し、証券会社と業務提携して新たな金融商品を開発するほか、「新しいクオリティへ、新しいスピードで」のスローガンのもと、顧客の視点に立った「リテールバンク」としての体制づくりを進めている。

大切なお金を守る責任。プロの仕事は人に喜ばれるためにある！

屋内に入るとまず大理石のロビーが広がり、話し声は高い吹き抜けに吸い込まれていく。重厚な雰囲気、緊張する13人の隊員たち。出発前、スタッフが隊員たちに銀行の仕事にはどんなものがあるか尋ねたが、「窓口」や「ATMを動かす人」「案内係」という答えが返ってきた。今回の探検でそれ以外にどのような仕事を見つけてきてくれるだろうか。新都心営業部の本多さんによる案内で厳重なセキュリティをくぐっていく。



◆◆◆ **窓口の裏に多くの仕事 大阪営業部と貸金庫室**

最初に案内されたのは1階の大阪営業部。普段私たちが銀行へ行くと、まず窓口の人と接するが、その後ろにある壁の向こうでは、為替(かわせ)や預金など窓口から回ってきた様々な業務が行われている。広いフロアでたくさんの方が働いているが、ホワイトボードを見ると、それぞれがどんな予定で動いているかが分かるようになっている。



◆◆◆ **責任はお金より重い！ 銀行で仕事の大切さを学んだ**

おぼつかない手つきで数える隊員と、指南役の鮮やかな手さばきを見比べて、他の隊員たちから思わずため息がもれる。この仕事で大切なのは使命感。早く、正確な作業でお金の信用を守っているのだ。貸金庫や多額の紙幣は、銀行の外では見られない貴重なものだ。荘厳な雰囲気だ。ただよう役員室では、立派な椅子にも座らせてもらい、いろいろな話も聞いた。見学を終えると、隊員たちはお金の大切さとともに、大まかな銀行の仕事のイメージすることができた。中でもりそな銀行の皆さんから聞いた「仕事をしていて大変なこと、嬉しいこと」が印象に残った。大阪営業部のグループリーダー、本橋さんはこう教えてくれた。「私たちはお金を預かるプロとして、お客様に喜ばれることをするのがやがいのです。また、お客様からの相談を受け付ける仕事をしている市原さんはこうも言っていた。「勉強は学校を卒業したら終わりではありません。社会に出て新しいことをたくさん学びます。難しくても、調べたことを一生懸命お客様に伝えて、その結果喜んでいただけたときはとても嬉しいです」。



次に案内された地下の貸金庫では、大きな鋼鉄の扉が隊員たちを迎えてくれた。重さはなんと15トン。扉を開けると24本のピンが壁とドアをつなぎ、金庫室をがっちり守る仕組みになっている。火事になっても10時間は耐えられるという。誰もが安心して物を預けられる設備を持つことが、貸金庫のサービスを提供する銀行の役割でもあるのだ。係の天野さんが「泥棒が来ても暗証番号がなければ入れないし、たとえ入れたとしても出られない。ここには万全の態勢が整っているんだよ」と説明すると、隊員たちは身を乗り出して柵の中の金庫を覗き込んでいた。



他にも大阪営業部の上田さん、横山さん、久禮さん、三反田さんから「お客様のために、細かなことに気を配る」という言葉を聞いた。帰りのバスへと向かう隊員の心には大切な「責任」の二文字がしっかりと刻まれたことだろう。



スタッフからみんなへ
今回は社会を支える銀行の仕事を見ました。特別な場所に行ったり、驚いたりしたことがたくさんありました。そこで働く人から話も聞きましたね。お金を預かる仕事の大変さややりがいを聞いて、銀行の仕事はお客様の期待に応え、「喜んでもらうこと」が大切なんだと感じてもらえたらと思います。最後に、みんなが大きくなってから、今日の体験が仕事選びに役立つ日が来ることを願っています。

隊員の感想コーナー

- 仕事をしていてたいへんなことがたくさんあることはわかっていただけれど、うれしいこともたくさんあることはすごいなあと思いました。(南条さん)
- 電話だと相手の顔が見えないから言葉づかいが大変だということが分かりました。(寺尾さん)
- しんけんにお客さんのことを考えているんだなあと思って感動した。(河野くん)
- お金を扱う仕事は、大切なお金を保管したり、数えたりするので大変そうでした。(樽谷くん)
- 銀行窓口の後ろには「待ち時間を0(ゼロ)に!」と書いてあったので、いつも、少しでも、良くなるように工夫しているんだなあと思いました。(音田さん)
- お客様の喜んだ顔を見るとうれしくなるって言っていたので、大変なことをがんばってなしとげると、うれしいことがあるということが分かりました。(辻本さん)

● 隊員紹介 (あいうえお順)
音田さん(6年生) 國木くん(6年生) 河野くん(6年生) 田中さん(5年生) 樽谷くん(6年生) 辻本さん(6年生) 寺尾さん(6年生) 永井さん(6年生) 中村くん(5年生) 南条さん(5年生) 西川さん(5年生) 福瀬くん(5年生) 古川くん(6年生)